

資料

ごみ・資源物量の推移

(単位: t)

区分		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	22年度対前年	
								増減	比率(%)
ごみ	もやせるごみ		168,945	181,870	181,173	178,918	179,786	868	0.49
	もやせないごみ		28,714	10,007	8,268	8,153	7,655	▲498	▲6.11
	粗大ごみ		2,465	3,907	3,810	3,918	4,277	359	9.16
	小計		200,124	195,784	193,251	190,989	191,718	729	0.38
資源物	缶・びん、ペットボトル		9,123	9,367	9,119	10,398	10,107	▲291	▲2.80
	古紙類		13,043	10,890	11,682	17,022	17,261	239	1.40
	プラスチック容器類		4,992	4,230	3,899	3,549	3,476	▲73	▲2.06
	電球・蛍光灯、乾電池/スプレー缶		182	185	182	221	376	155	70.14
	小計		27,340	24,672	24,882	31,190	31,220	30	0.10
排出量合計			227,464	220,456	218,133	222,179	222,938	759	0.34
再掲	家庭ごみ		155,703	151,426	152,484	157,359	157,842	483	0.31
	(もやせるごみ+もやせないごみ)		(128,498)	(127,183)	(127,590)	(126,780)	(126,764)	(▲16)	(▲0.01)
	事業系ごみ		71,761	69,030	65,649	64,820	65,096	276	0.43
	(もやせるごみ+もやせないごみ)		(69,161)	(64,694)	(61,851)	(60,291)	(60,677)	(386)	(0.64)
埋立処分量			52,949	25,431	26,173	26,741	28,456	1,715	6.41

【参考】

資源物売却額	H22年度	約3億2千万円
	H21年度	約2億円

【総括】

平成22年度の家庭系と事業系の排出量合計、ごみ・資源物量ともに横ばいである。
 なお、家庭から排出される「もやせるごみ」と「もやせないごみ」の合計量は、減少傾向にあるとともに、資源物量は増加傾向にあることから、ごみの減量化と資源化に対する市民意識は、徐々に向上しているものと考えている。